

平成24年度 公共事業再評価調査

基準年月日 平成24年8月1日

Table with 5 columns: 調書番号 (08-02), 所管部 (建設部), 作成責任者 (建設部土木局河川課長 久野 顕), 担当グループ (計画G (内) 29-323)

I 基本事項 (基準日時点)

Main project details table including 事業種別 (広域河川改修事業費), 地区名 (木古内川), 事業費 (8,310百万円), 事業概要 (河口から上流5.6kmの区間について), 工事費内訳 (築堤工, 掘削工, etc.)

II 計画変更 (単位: 百万円)

Table showing project schedule changes with columns for 事業期間 (当初, 変更①, 変更②), 事業着手, 建設着手, 変更年度, 完了予定, 経過年数, 総事業費(a), 道負担額, 当該年度事業費, 累積事業費(b), 進捗率(b)/(a)

Table for 変更理由・内容 (Change reasons and content) with 2 rows of text explaining the extension of the project period and increase in costs.

III 事業着手前の状況

Table detailing the status before project start with 3 rows: 1. 事業着手に至る経過と背景 (Background of project start), 2. 事業検討の際の手続き (Procedures during project review), 3. 事業が効果を及ぼす地域・対象 (Areas and targets where the project has an effect)

Table for 4. 関連する事業 (Related projects) with columns: 事業名, 事業主体, 事業期間, 事業費 (百万円), 事業内容

IV 事業の実施状況

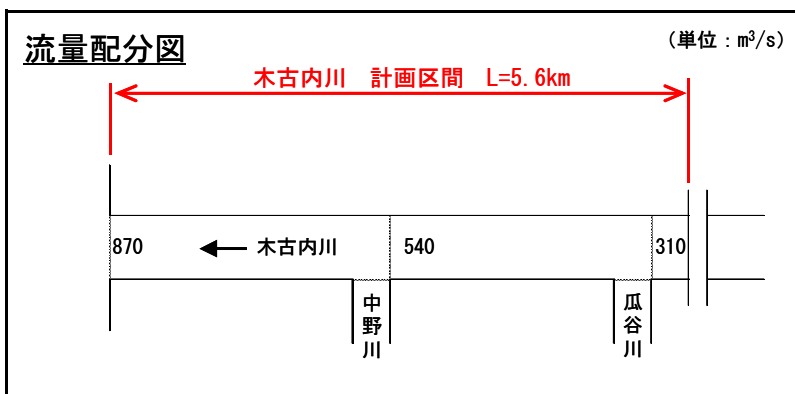
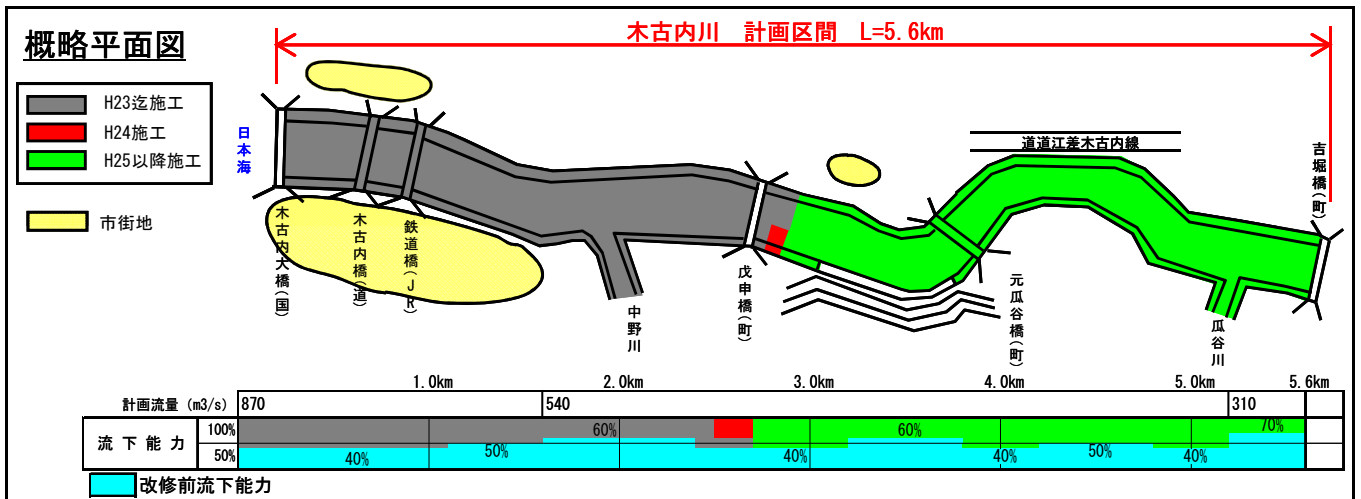
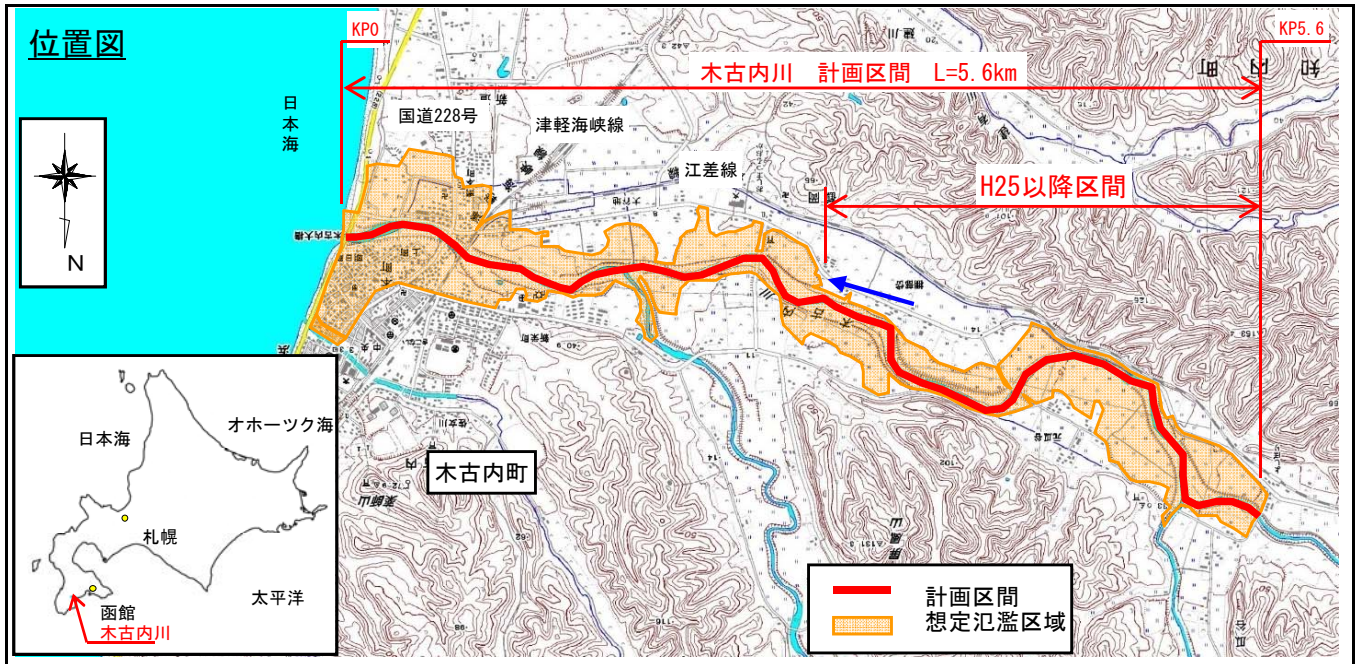
Table for 1. 進捗状況 (Progress status) including (1) 事業計画及び実績 (Project plan and actual performance) with a Gantt chart showing progress for various construction items like 築堤工, 掘削工, etc.

(2) 進捗状況 (Progress status) text block: H23年度までに戊申橋付近より下流区間の整備を完了。事業費の増額等により、事業の進捗に遅れが見られるものの、今後の事業実施にあたっては、特に大きな支障となるものはない。

Legend for progress status: a: 概ね予定どおり実施している, b: 若干の遅れは見られるものの対処可能である, c: 問題が生じ、実施に支障をきたしている

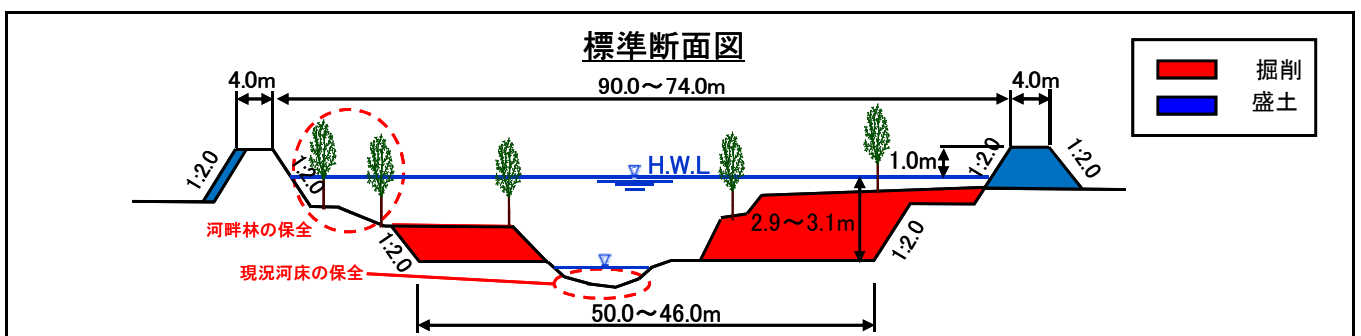
	経済効果の内訳（百万円）			費用の内訳（百万円）			B/C	
	項目	前回	現在	項目	前回	現在	前回	現在
2.経済効果	洪水被害防止効果	58,094	63,862	建設費	9,644	11,712	/	/
				維持管理費	32	26		
	合計（B）	58,094	63,862	合計（C）	9,676	11,738		
備 考								
【前回】 ・「治水経済調査マニュアル(案)」(国土交通省H17)に基づき算出している。 ・経済効果及び費用は、「整備期間+事業完了後50年間」の累計で算出しており、各年度の金額は、算出する基準年(H19)現在の価値に置き換えている。 ・費用は、現在価値への置換えと50年間の維持管理費を含んでいることにより、総事業費と異なる。				【現在】 ・「治水経済調査マニュアル(案)」(国土交通省H17)に基づき算出している。 ・経済効果及び費用は、「整備期間+事業完了後50年間」の累計で算出しており、各年度の金額は、算出する基準年(H24)現在の価値に置き換えている。 ・費用は、現在価値への置換えと50年間の維持管理費を含んでいることにより、総事業費と異なる。				
3.コスト削減などの取組み	取組の項目		取組内容				縮減額(百万円)	
	施工の最適化		工事で発生するコンクリート殻を護岸の中詰め材へ再利用				4	
V 評 価								
1.必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本事業は、木古内町本町地区などの市街地及び農地の浸水被害を防止するためのもの。</li> <li>● 事業着手後もH6年9月(農地23ha、家屋20戸)、H7年8月(家屋9戸)に浸水被害が発生。</li> <li>● 事業の必要性に変化はなく、着実に事業の推進を図る必要がある。</li> </ul>							
	a	a：事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する      b：着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である c：着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある						
2.事業を推進する上での課題	(1) 道政課題(ほっかいどう社会資本整備の重点化方針)での位置付け							
	施 策 優先度	A	施 策 名	洪水や土砂災害に備えた安全性の高い災害防止施設の整備	事業 うが	2	事 業 優先度	Ⅱ
			全 道 優 先 度	A	地 域 優 先 度	なし		
	ほっかいどう社会資本整備の重点化方針において、事業優先度は【Ⅱ】に位置付けされていることから、引き続き予算の総枠との調整を図った上で、事業の推進を図る。							
	(2) 環境上の配慮及び課題							
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 魚類などに配慮し、現況河床を極力保全している。</li> <li>● 河畔林を極力保全している。</li> <li>※ 再評価(H19年)以降の状況変化はない。</li> </ul>								
(3) 事業推進に対する住民の動向								
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 木古内町から事業の早期完成に向けての要望が出されている。</li> <li>※ 再評価(H19年)以降の状況変化はない。</li> </ul>								
(4) その他の課題								
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 特になし</li> <li>※ 再評価(H19年)以降の状況変化はない。</li> </ul>								
3.事業達成の見込み	事業費の増額等により、事業期間の延伸が必要となったものの、今後の事業実施にあたっては、特に大きな支障となるものはなく、事業は順調に進捗していく見込みである。							
	a	a：十分達成が見込まれる      b：課題はあるものの達成は可能である      c：大きな課題があり達成には相当の困難が予想される						
4.対処方針	事業の必要性に変化はなく、地元からの早期完成要望も受けているため、H38年度の完成を目指し、事業継続する。							
	a	a：継続      b：終了      c：休止      d：中止						
	事業期間の変更の有無	有	事業費の変更の有無	有	事業内容変更の有無	無	目的・規模等に係る変更	左記以外の変更
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>無</span> <span>有</span> </div>								
VI 備 考								
1.評価履歴	事前評価： 再評価： H14年度実施      評価結果：継続(変更なし) 再評価： H19年度実施      評価結果：継続(変更なし)							
2.その他の取り組み事項	● 特になし							

事業名	広域河川改修事業費 (社会資本整備総合交付金)	地区名	木古内川	採択年度	H5
-----	----------------------------	-----	------	------	----



### 計画諸元

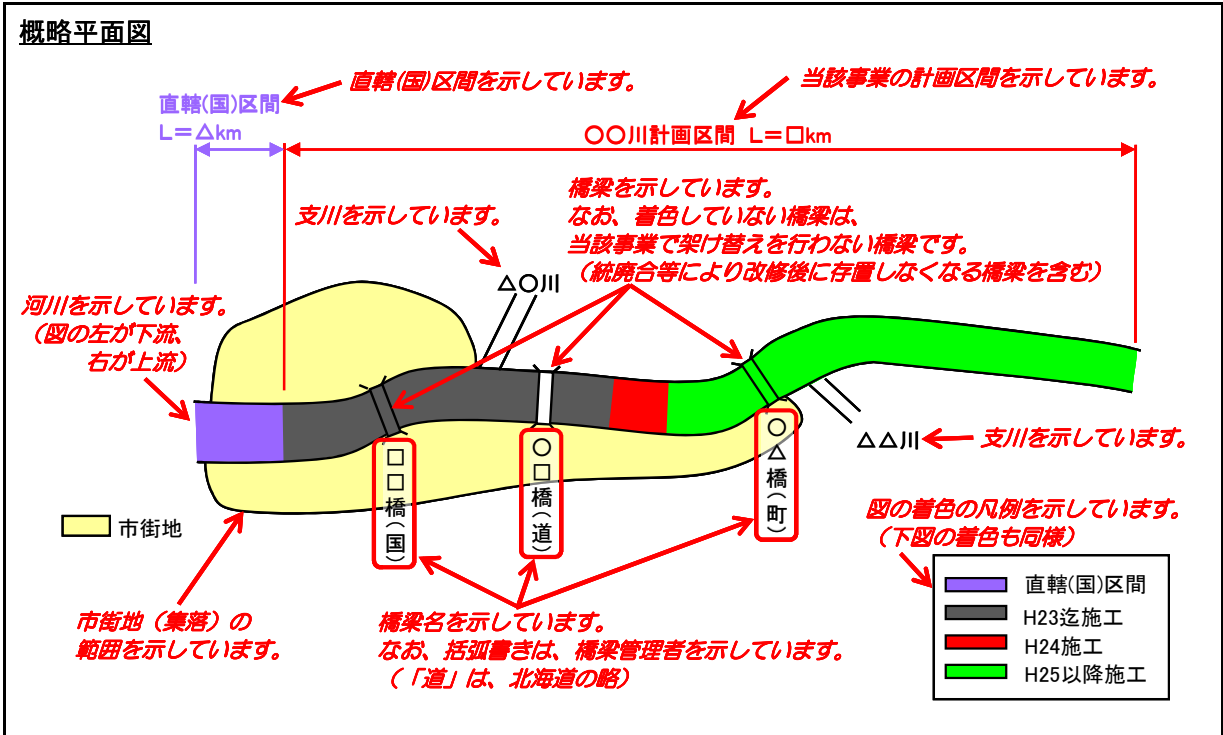
流域面積 (km <sup>2</sup> )	119.7
計画延長 (km)	5.6
氾濫面積 (ha)	164
計画雨量 (mm/hr)	58
計画高水流量 (m <sup>3</sup> /s)	870
計画勾配	1/220~1/550



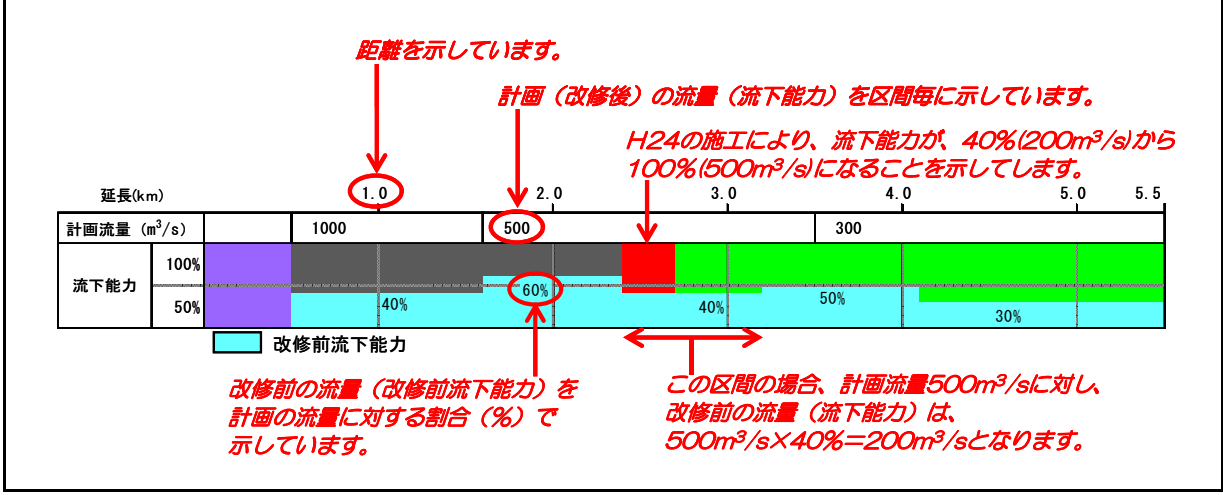
# 事業概要図（河川事業<sup>※</sup>）の概略平面図の解説

※調書番号08-01～08-07の地区が対象

図の解説を赤字斜体文字で表示しています。



下の略図は、河川で流すことのできる洪水の量（流量）を模式的に示したものです。



## コスト縮減などの取り組み 「工事で発生するコンクリート殻を護岸の中詰め材へ再利用」の解説

調書番号08-01～08-03、08-05、08-06、08-08の地区が対象

再利用の考え方を緑色文字斜体で表示しています。

